

# 依存症ワーキンググループ

(令和4年度)

## 依存症ワーキンググループ調査研究報告書

広島県地域保健対策協議会 依存症ワーキンググループ

WG長 町野 彰彦

### I. はじめに

本ワーキングでは、令和5年度の広島県依存症対策推進計画（仮称）策定に向けて、県内の依存症診療に係る現状や課題を把握し、依存症対策検討の基礎的データとして活用するため、県内の精神科医療機関を対象にアンケート調査を行い、今後の対応について検討したので、その結果を以下に報告する。

### II. 協議の概要

#### 1 ワーキンググループ会議の開催状況

アンケート調査の実施及び今後の対応を検討するため、依存症ワーキンググループ会議を3回開催した。会議の開催状況は次のとおりである。

日にち等	協議内容
第1回依存症WG (令和4年6月9日)	・依存症WGにおける検討事項とスケジュールについて ・依存症アンケート調査について
第2回依存症WG (令和4年8月4日)	・依存症の取組について（各委員から） ・依存症アンケート調査について
第3回依存症WG (令和4年12月22日)	・依存症アンケートの調査の結果について ・調査結果の検討及び課題と対応について

#### 2 「依存症アンケート調査」について

##### (1) 調査方法

県内の精神科医療機関161機関（63病院、98診療所）を対象に、郵送でアンケート調査票を送付し、FAX又は郵送（返信用封筒）により回収した。

##### (2) 調査時期

令和4年8月24日～9月21日

##### (3) 調査内容

医療機関に対して、依存症の外来・入院診療や治療プログラムの実施状況、患者の依存・嗜好問題への対応、自助グループへの紹介等の状況、今後の依

存症診療等について、選択肢及び自由記述形式で答える形のアンケート調査を行った。

##### (4) 回収状況

調査対象161機関（63病院、98診療所）のうち、106機関（47病院、59診療所）から回答があり、回収率は65.8%であった。

##### (5) 調査結果

###### ①依存症診療の実施状況

依存症の診療を実施している医療機関は、回答があった106機関のうち75機関（36病院、39診療所）で、実施機関の割合は71%となった。

###### ②外来診療の状況

依存症の診療を実施している75機関のうち、依存症（主病名）を月に1例以上診療している機関は、アルコールが66機関（88%）、薬物が35機関（47%）、ギャンブルが20機関（27%）、ネット・ゲームが20機関（27%）、病的窃盗13機関（17%）であった。依存症（主病名）を月に30例以上診療している機関は、アルコール9機関、ギャンブルとネット・ゲームがそれぞれ1機関であった。

###### ③入院診療の状況

年に1例以上の入院診療を行っている病院は、36機関のうちアルコール29機関（81%）、薬物14機関（39%）、ギャンブル3機関（8%）、ネット・ゲーム2機関（6%）、病的窃盗2機関（6%）であった。年に30例以上入院診療している機関は、アルコール8機関、ネット・ゲーム1機関であった。

###### ④外来診療の課題

106機関のうち、半数を超える機関が選択した項目は、医療機関側の「治療プログラムがない」57機関（54%）、「依存症・嗜癖問題への対応が出来るコメディカル・スタッフがいない」54機関（51%）、患者側の「治療に対するモチベーションが低い」67機関（63%）であった。

#### ⑤依存症の治療プログラムの実施状況

106機関のうち、依存症の治療プログラムを実施している医療機関は、SMARPP（もしくはHIMARPP）11機関、SAT-G（もしくはSTEP-G）7機関、CRAFT7機関、SWITCH3機関、久里浜式2機関、GT-MACK2機関、その他独自の治療プログラムを実施している機関が8機関であった。また、二次保健医療圏のうち広島西圏域と備北圏域では、域内の医療機関における治療プログラムの実施が確認できなかった。

#### ⑥依存症の治療プログラム以外の実施状況

106機関のうち、カウンセリングは29機関、訪問看護は23機関、デイケアは21機関、家族教室は7機関で実施されていた。家族教室は、4圏域（広島、呉、尾三、福山・府中）で実施され、3圏域（広島西、広島中央、備北）では実施されていない。

#### ⑦依存・嗜癖問題の確認

治療継続中の患者の診療において、依存・嗜癖問題の有無を確認しているかの問いに対して「確認している」と回答した機関は76機関（72%）であった。

このうち、依存・嗜癖問題が見つかった場合の対応として、「専門医療機関を紹介する」が58機関、「自助グループ・家族会などの情報提供をする」が44機関、「依存・嗜癖問題に対する専門的治療を行う」が23機関、「精神保健福祉センター・保健所などの情報提供をする」が14機関であった。

#### ⑧依存症の自助グループ

106機関のうち、依存症の自助グループを「知っている」機関は87機関（82%）であった。

「知っている」と回答したもののうち、具体的な

対応について回答があったのは84機関であった。そのうち「患者に情報提供したことがある」機関は、断酒会65機関、AA（アルコールクス・アノニマス）が53機関、GA（ギャンブラーズ・アノニマス）が26機関で、「患者に紹介したことがある」機関は、断酒会53機関、AAが38機関、GAが14機関であった。

#### ⑨今後の依存症診療であればよいと思うもの

106機関のうち、最も多かったのは「依存症を気軽に紹介できる医療機関」61機関（58%）であったが、診療を実施している29機関では、「ギャンブル依存、ゲーム依存などの研修の機会を増やす」が最多で21機関（72%）であった。

#### 3 アンケート調査を踏まえた今後の方向性

今回のアンケート調査の結果から、ギャンブル依存症の外来診療（治療プログラムや家族教室）の不足や人材育成等の課題が分かり、こうしたことを踏まえ、今後の対応の方向性について、次のとおり取りまとめた。

- ①依存症の治療プログラムや家族教室の実施機関の周知
- ②外来診療実施機関を増やすための取組
- ③人材育成・研修
- ④相談拠点との連携

### Ⅲ. ま と め

本ワーキングでは、アンケート調査の実施を通じて、本県の依存症医療に係る実情を把握することができた。

今後は、本ワーキングにおける検討結果を踏まえ、依存症医療の提供体制及び相談支援体制の強化に向け、広島県依存症対策推進計画（仮称）が策定されることが望まれる。

令和4年8月24日

精神科を有する医療機関の長 様

広島県地域保健対策協議会  
精神疾患専門委員会 委員長 岡本 泰昌  
依存症ワーキンググループ WG長 町野 彰彦

## 依存症アンケート調査について（ご依頼）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から、本協議会の事業運営にご理解とご協力を賜り深謝申し上げます。

さて、多様な精神疾患の一つである依存症に関しては、ギャンブル等依存症対策基本法が施行され、各都道府県での専門医療機関ならびに相談機関も含めた包括的な医療体制整備が求められております。

このたび、本県における依存症の医療機関の状況を把握し、検討資料として活用するため、アンケート調査を行うことと致しました。

つきましては、本アンケート調査にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、回答につきましては、別紙のアンケート調査票にご記入のうえ、FAXまたは同封の封筒により、下記事務局宛てに9月21日（水）までに御返送ください。

業務ご多端の折、誠に恐れ入りますが、何卒御協力を賜りますよう、お願い致します。

## 【調査票提出先】

広島県地域保健対策協議会事務局（広島県医師会 地域医療課）

〒730-0057 広島市東区二葉の里3-2-3

FAX：082-568-2112

※郵送で回答される場合には同封しております返信用封筒をご活用下さい。

## 【アンケートに関する問合せ先】

広島県健康福祉局 疾病対策課 精神保健グループ（兼原・中）

TEL：082-513-3069（ダイヤルイン）

E-Mail：futaisaku@pref.hiroshima.lg.jp

広島県地域保健対策協議会事務局  
広島県医師会 地域医療課（秀島・沖本）  
〒732-0057 広島市東区二葉の里3-2-3  
TEL：082-568-1511 FAX：082-568-2112

## 依存症アンケート調査票 1枚目

回答者について御記入をお願いします

医療機関名			
医療機関区分	診療所（一般 専門） 病院（一般 総合病院 専門病院）		
記入者 御芳名	様		
所在地	（〒 - ）		
電話番号		FAX番号	

個々の医療機関の情報は外部に漏洩することはありません。  
記載内容の確認をさせていただく場合がありますので、可能な限り、ご記入いただけましたら幸いです。

Q1 貴院では、依存症の診療を実施されていますか？ 該当するものに○をつけてください。

- 1 はい
- 2 患者が通院若しくは入院しているが、積極的に加療しているわけではない
- 3 いいえ

※「1 はい」、「2 患者が…」を選択された場合は、Q2以降の質問にご回答ください。

「3 いいえ」を選択された場合は、Q5以降の質問にご回答ください。

## 【依存症の外来診療について】

Q2 依存症を**主病名（あるいは主問題）**として、月におよそ何例を実人数として外来診療されていますか？

該当するものに○をつけてください。

（確定診断に至っていない（疑）例も含めて計上してください）

- |                      |      |      |        |        |
|----------------------|------|------|--------|--------|
| 1 アルコール使用障害          | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 2 薬物(処方薬を含む)依存・乱用    | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 3 ギャンブル依存            | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 4 ネット依存・ゲーム依存、両方の実人数 | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 5 4のうち、ゲーム依存のみの実人数   | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 6 病的窃盗               | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 7 その他（               |      |      |        |        |
|                      | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |

医療機関名 ( )

Q3 **併存症**として依存の問題がある方を、月におよそ何例を実人数として外来診療されていますか？  
該当するものに○をつけてください。

- |   |                    |      |      |        |        |
|---|--------------------|------|------|--------|--------|
| 1 | アルコール使用障害          | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 2 | 薬物(処方薬を含む)依存・乱用    | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 3 | ギャンブル依存            | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 4 | ネット依存・ゲーム依存、両方の実人数 | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 5 | 4のうち、ゲーム依存のみの実人数   | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 6 | 病的窃盗               | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 7 | その他 ( )            | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |

### 【依存症の入院診療について】

Q4 主病名（あるいは主問題）および副病名（あるいは併存問題）で、1年間におよそ何例を実人数として入院診療されていますか？該当するものに○をつけてください。

- |   |                       |      |      |        |        |
|---|-----------------------|------|------|--------|--------|
| 1 | アルコール使用障害             | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 2 | 薬物依存・乱用               | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 3 | ギャンブル依存               | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 4 | ネット・ゲーム依存、両方の実人数      | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 5 | 4のうち、ゲーム依存のみの実人数      | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 6 | 病的窃盗                  | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 7 | その他 ( )               | 【 0例 | 1～9例 | 10～29例 | 30例以上】 |
| 8 | 入院診療を行っていない           |      |      |        |        |
| 9 | 入院診療を行っているが、依存症の入院はない |      |      |        |        |

### 【依存症の外来診療での対応について】

Q5 依存症・嗜癖問題の患者が外来受診、若しくは受診相談があった場合、どのように対応されていますか？当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

- 1 専門医療機関を紹介する
- 2 受付でお断りしている
- 3 専門的治療は行っていないが、受診継続に向けて治療する
- 4 コメディカル・スタッフが相談にのる
- 5 依存症・嗜癖問題に対する専門的治療を行う
- 6 自助グループ・家族会などの情報提供をする
- 7 精神保健福祉センター・保健所などの情報提供をする
- 8 その他 ( )

医療機関名 ( )

【依存症の外来診療の課題について】

Q 6 依存症・嗜癖問題の患者の外来診療における課題についてお尋ねします。当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

《医療機関側の課題》

- 1 依存症・嗜癖問題への対応が出来る医師がいない
- 2 依存症・嗜癖問題への対応が出来るコメディカル・スタッフがいない
- 3 採算性が乏しい
- 4 依存症・嗜癖問題に対する苦手意識が強い
- 5 治療プログラムがない
- 6 その他 ( )

《患者側の課題》

- 1 患者が医療機関を受診しない
- 2 治療に対するモチベーションが低い
- 3 借金、家庭内暴力、触法事件などの問題を抱えている
- 4 その他 ( )

《その他の課題》

- 1 依存症・嗜癖問題について、教育・学習の機会が少ない
- 2 紹介できる通院の専門医療機関が限られている
- 3 通院集団療法や依存症集団精神療法の算定ができない
- 4 その他 ( )

【依存症の治療プログラムについて】

Q 7 依存症の治療プログラムについて、貴院(紹介先医療機関も含む)で実施されているものに、○をつけてください。(複数回答可)

- 1 SMARPP (もしくはHIMARPP)
- 2 SWITCH
- 3 SAT-G (もしくはSTEP-G)
- 4 CRAFT
- 5 その他 ( )
- 6 実施していない。または、わからない。

SMARPP : Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program  
(薬物当事者CBT)

HIMARPP : HIroshima Methamphetamine Relapse Prevention Program  
(薬物当事者CBT)

SWITCH : 岡山県精神医療センターの開発したギャンブル依存に対するCBTプログラム

SAT-G : Shimane Addiction recovery Training program for Gambling disorder  
(ギャンブル当事者CBT)

STEP-G : Standerdized Treatment Program for Gambling disorder  
(ギャンブル当事者CBT)

CRAFT : Community Reinforcement And Family Training  
(依存症・ひきこもり等家族向け)

医療機関名 ( )

【依存症の治療プログラム以外の実施状況について】

Q8 依存症の治療として、貴院（連携先医療機関も含む）で実施されているものに○をつけてください。（複数回答可）

- 1 デイケア
- 2 訪問看護
- 3 家族教室
- 4 カウンセリング
- 5 その他 ( )
- 6 実施していない。または、わからない。

【依存症の併存について】

Q9 治療継続中の患者の診療において、依存・嗜癖問題の有無を確認されていますか？

【はい ・ いいえ】

※「はい」を選択された方にお伺いします。  
 依存・嗜癖問題が見つかった場合は、どのような対応をされていますか？  
 当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

- 1 専門医療機関を紹介する
- 2 依存・嗜癖問題に対する専門的治療を行う
- 3 自助グループ・家族会などの情報提供をする
- 4 精神保健福祉センター・保健所などの情報提供をする
- 5 その他 ( )

【依存症の自助グループについて】

Q10 依存症の自助グループ（断酒会、AA、GAなど）をご存知ですか？

【はい ・ いいえ】

※「はい」を選択された方にお伺いします。  
 自助グループへの紹介等の状況について、当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

区分	断酒会	A A	G A	その他 ( )
① 患者に紹介したことがある				
② 患者に情報提供したことがある				
③ 自院でのミーティング活動に協力している				
④ その他 ( )				

※ その他の欄には、NA（薬物）、KA（病的窃盗）のほか、MAC、DARCなどの回復支援施設も含めて、該当するものがありましたら、記載をお願いします。

医療機関名 ( )

### 【今後の依存症診療について】

Q11 依存症診療に関して、今後、あればよいと思うものに○をつけてください。(複数回答可)

- 1 ギャンブル依存、ゲーム依存などの研修の機会を増やす
- 2 質問表・ワークシート・各種尺度など、治療上のツールに関する情報提供
- 3 依存症患者を気軽に紹介できる医療機関
- 4 自助グループについて知る機会
- 5 その他 ( )

### 【その他依存症について】

Q12 依存症の診療に関して、ご意見等がありましたら、お願いします。

(自由記載)

ご協力ありがとうございました

同封の封筒またはFAXにより、ご返送をお願いします



広島県地域保健対策協議会 依存症ワーキンググループ

WG長 町野 彰彦 呉医療センター・中国がんセンター  
委員 天野 純子 広島県医師会  
小野 晴久 港町クリニック  
加賀谷有行 KONUMA 記念依存ところの研究所  
勝田 徹 広島県健康福祉局疾病対策課  
倉田 健一 ところの健康クリニック可部  
佐伯真由美 広島県立総合精神保健福祉センター  
長尾早江子 呉みどりヶ丘病院